

# 「大好き！ふるさと安岡」

下関市立安岡小学校

## 学校運営協議会について

### ①実施回数

年間5回開催

### ②主な協議内容

- ・学校経営方針、共通取組事項、学校応援団の募集、ホタル飼育計画〔4月〕
- ・学校応援団（状況報告）、安岡小中CS年間計画〔6月〕
- ・前期学校評価結果、全国学力・学習状況調査結果、小中避難訓練計画〔9月〕
- ・コーディネーター活動報告、小中合同避難訓練反省、ホタル放流式計画〔11月〕
- ・後期学校評価結果、学校評価、来年度の予定・活動〔2月〕

### ③コーディネーターの活動

- ・学校応援団との連絡調整、事前準備、資料作成
- ・AFPYのアクティビティ（年間2日）
- ・1泊2日のアウトドア体験（夏休み）
- ・日立製作所笠戸事業所の見学
- ・地域の貯水池を活用したカヌー教室の開催（年間2日）



## 主な活動

### ◇ホタルの飼育活動（通年）

11月16日に、ホタルの放流式を行い、約700匹の幼虫を放流しました。友田川でのカワナ採集から、ホタル小屋での幼虫へのえさやりや水分補給、カワナの殻の除去まで、まちづくり協議会の方々を中心にご協力をいただきながら行いました。まさに地域の方の支えあつての活動となっています。



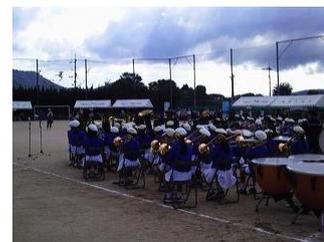
### ◇小中同時避難訓練（11月）

11月22日（木）に、安岡小・中学校が合同の地震による避難訓練を実施しました。小中各校が同時刻に避難し、地域の方々に見守りのご協力もいただきました。学校運営協議会では避難の方法について貴重な意見をいただきました。



### ◇地域行事への参加（通年）

10月の体育の日に、第32回安岡地区の大運動会が開催され、たくさんの児童が参加しました。また、本校金管バンドが開会式で演奏し、運動会をさらに盛り上げました。金管バンドは、この他にも地域夏祭りや地区文化祭等の行事に毎年参加しており、地域貢献の大きな力となっています。



## 来年度に向けて

「ふるさと安岡」を愛する子供たちを育てるために、地域とともに小中共通の課題についてより明確にし、その解決のための取組を具体的に進めたいと思います。また、子供たちの地域行事への関心や参加意識を高めるための取組や校内ボランティアルームの開設等についても検討していきたいと考えています。

# 地域とともに「高め合う チーム安岡」

下関市立安岡中学校

## 学校運営協議会について

〔主な協議内容〕

- ・学校経営方針の説明、学校運営協議会運営方針及び取組、学校応援団（5月）
- ・全国学力・学習状況調査結果、綱紀保持、学校評価項目検討、情報交換（6月）
- ・学校評価(中間評価)、小中合同研修会、ユニット型研修、情報交換（9月）
- ・小中同時避難訓練、情報交換（11月）
- ・学校評価、本年度の反省、情報交換、来年度に向けて（2月）

## 特色ある活動

### ◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

校区内には海水浴場があり、6月と7月に大規模な「海岸清掃」が行われています。また、4月と12月に行われている「河川敷の清掃」には、多くの生徒や教職員がボランティア活動として参加しています。地域に貢献するとともに、自治会の方々からの感謝の言葉をいただき、自己有用感を高めることができました。

技術科の授業では、二年前から地域の特産品である「安岡ねぎ」の栽培を始めました。地域の関係者を招き、土づくりや種まきを教わった後、各自の鉢で育てました。12月には、恒例行事となっている「餅つき」を行い、地域の方から寄付された餅米を使って、約170名の生徒が餅つきを体験しました。



【河川敷清掃】



【海岸清掃】



【安岡ねぎ】



【餅つき】



【勉強の保健室】

### ◆学校応援団等による学校支援

毎週水曜日には、「図書ボランティア」の方々、図書室の環境整備などを行っています。定期的開催されるブックバトルなどにより、生徒の読書への関心は確実に高まっています。今年度の6月から、コミュニティルームに「勉強の保健室」を開設しました。昼休みと放課後の時間を利用して、地域の方による学習支援を実施しています。夏休みには学校応援団による学習支援や校内整備作業を行いました。

### ◆ボランティア活動による地域貢献

今年度は、「地域の防災訓練」が中学校で実施され、多くの中学生が地震と津波を想定した訓練に参加しました。初期消火や救命活動に加えて、避難者の受付や炊き出しの配付を体験しました。他にも、「交通安全キャンペーン」、「駅の自転車点検」、「地域の独居老人へのメッセージカード作成」を行いました。



【防災訓練】

### ◆熟議・ユニット型研修の実施

「地域・家庭・学校のネットワークづくり」をテーマにして「熟議」を開催しました。校区内の各関係機関や団体、保護者、学校運営協議会委員が参加し、生徒の健全育成について熱心に話し合いました。それぞれの立場からの意見を出し合うことで、今後の役割や連携の必要性を改めて確認することができました。また、今年度もユニット型研修による授業研究を実施しました。全ての教職員が授業を提供し、地域の方の参加数も増加しました。

## 来年度に向けて

学習支援に関わる学校応援団の人数を増やすための方策や学校運営協議会委員の進路指導への協力方法などをコーディネーターと協議し、より多くの地域の方が学校に足を運ぶ機会を設定したいと考えています。